



講演2 有坂栄康さん、あいいろのツバメプロジェクトの皆さん

次に、有坂栄康さんより、「日常的、予防的、積極的 人権教育の勧め」～ 元教師ALS患者からの発信 ～と題して、『あいいろのツバメプロジェクト』のみなさんと共に、ご講演をいただきました。参加者からは、

・有坂先生が『ALSになっても自分の身体を愛おしく思う』ということを知り、自分を肯定して生きていくことがいかに大切なことであるか思い知らされた。とかく不足していることに不満を言いがちな自分だが、もう少し自分の足元をしっかりと見直していきたいと思った。

・闘病生活から現在の有坂さんの思いが納得でき、正直なことだと感じた。その上に立っての発信というのは説得力がある。『積極的』という言葉を重ね受けとめ、たくさん情報を自分なりに整理し、実践に活かしたい。

・言葉では表せないほど、様々な思いがある。有坂先生だからこそ伝わるメッセージがあったと思う。自己肯定感を高めることが、他者も認める第一歩であると思

い、できることから行動していきたいと思った。全ての人が幸せと感じられる社会の実現のため、考え行動し続ける必要があると思った。

・お身体が不自由になる中で、人としてよりよい自分を追い求めたいと願っていることに、とても勇気をいただいた。等のご感想をいただきました。

長野県教育委員会事務局心の支援課の佐々木洋一さん、佐久市立浅間中学校の横田直都さんからは、「同和問題ミニ講座の取組は続く」と題し、長野県教育委員会による『同和問題』についての選択受講制ミニ講座(1回20



実践報告佐々木洋一さん
(長野県教育委員会事務局心の支援課)

分程度の入門講座。第1回「同和問題とは何か」から第10回「自ら動き出した先生方の実践」までの計10回。昨年度より開設)の具体的内容とその活用のしかたについて、長野県教育委員会事務局(創)側と中学校(活用する)側から、それぞれ実践報告をいただきました。参加者からは、

・指導主事の方の熱意が形になったものであり、大切にしていきたい。常にリニューアルしながら、さらに活用されるようになれば良いと思う。さらにお金をかけて、全国に発信できるものになれば良いと思う。

・ちょっとした時間に、誰でも、さっと受講できる取組はとても良いと思う。苦労しながら創り上げてくださった主事の先生たちに感謝。

・人権教育に向かっていく先生方の姿がとても良いなと思った。『優しさは強さから、強さは自信から、自信は学ぶことから』。ミニ講座は学ぶことの大切さを教えてくれるものなのかと思った。

・本日、この研究会に参加した一番の理由が、近年の同和問題の扱い方を知って、本校の人権旬間に活かすことだった。お話を通して、『同和問題を学ぶ』から『同和問題から学ぶ』のスタンスで実践したい。等のご感想をいただきました。

閉会行事では、白鳥貴文会長より研究大会のまとめがありました。参加者からは、

・会長の温かい挨拶と共に、学ぶべきことが非常に多い、充実した内容の研究大会だった。

・人権教育について改めて学ぶことが出来、良かった。大学で学生と関わっているが、この学びを何らかの形で活かしていきたい。

・同和教育を研究する大会とは、どういう内容で、どういう人が参加していることが正しいのか、今更ながら考えてしまった。実践報告と意見交換を中心とする会に、どうしたらできるか。もう難しいことなのか、考えてみたい。

・田中県政で打ち切られた補助金は今どうなっているのか。

・人としての自分自身を見つめ直し考えさせられる濃い一日だった。

・貴重な勉強をさせていただいた。等のご感想、ご意見をいただきました。

皆様からのご意見やご感想を活かしながら、伝統ある大会にふさわしく、より明るい未来への展望が持てる県同和教育研究会にしてまいりたいと存じます。なお、参加者の皆様に当日お配りした『明日をもとめて第29集長野県同和教育推進協議会創立60周年記念号』につきましては、一冊1,070円(送料430円)で販売しておりますので、購入をご希望の方は、下記事務局までお申し込みください。



実践報告
横田直都さん(佐久市立浅間中学校)

